学校番号	208

平成31年度　理　科

教科	理科	科目	地学	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	地学「地学」　（啓林館）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地球の歴史や、地球規模の大気や海水の運動、宇宙への興味を持ってほしい。また生命の進化などから、自分が大きな生命進化のうねりの中にいることも理解してほしい。すなわち身の回りで起こる現象に敏感になるということである。地震災害などの過去を学ぶことで、将来の危険を回避できることもある。そういう意味でたくさんの知識を得て、考え行動できる大人になってほしい。

2　学習の到達目標

地学的な事物・現象に対する探究心を高め，得た知識を元に、目的意識をもって観察，実験を行い，また、作業プリントなどで過去の科学者が行った過程をなぞることによって、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに，地学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的な自然観を育成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地震・津波・洪水旱魃などいろいろな自然災害などを映像などで視覚的に訴えることも行う。それを通じて、自分たちの生活との関連の中から、どのように行動すべきかなど、自分たち知識や科学的な見方や考え方を身につける。	地震、洪水、温暖化その他の自然現象の中の自らとも関係することを理解し、科学的に探求し自身の考えとしてまとめ、表現する。	過去の科学者が行った実験、作業などの過程を作業プリント等で計算・作業などを行い、追体験をする。 また、標本の観察や宇宙の映像などを整理し、分類するなど、科学的に探求する技能を身につける。	生物の進化や地球の姿、宇宙の姿などから、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身につける。
評価方法	学習状況の観察 ノートや作業プリントの記述 探求活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートや作業プリントの記述 探求活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートや作業プリントの記述 探求活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートや作業プリントの記述 探求活動の記録、発表 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	固体地球の概観と活動	地球の形状	○				a:地球の形や重力、磁気に関心を持ち、確かめ、意欲的に探求しようとする。 b:地球の内部構造を、どのように調べたかを理解し、考え表現する。 c:概観に関する学習活動と関連させ、過程の設定、観察し解釈し、まとめる。	学習状況 探求活動 ノートや作業プリントの記述 定期考査
		地球の内部		○				
		地球の概観に関する探究活動			○			
2学期	地球の活動と歴史	地球の活動				○	a: 地球の歴史に関心を持ち、意欲的に探求しようとする。 d:地球の活動を、地震・火山などを通じて理解している。	学習状況 探求活動 ノートや作業プリントの記述 定期考査
		地球の歴史	○					
	大気と海洋	大気の構造と運動	○				a:大気の構造と運動に関心を持ち、天気予報など身近なこととも意欲的に探求しようとする。 b:海洋と海水の運動を事象や結果を考察し結論を導き表現している。	
		海洋と海水の運動		○				
3学期	宇宙の構造	太陽系			○		a:恒星と銀河系に関心を持ち、見える星と関連付け、意欲的に探求しようとする。 b:宇宙の構造に関する探究活動を行い、考えを表現し、事実と比較考察する。 c:太陽系について、軌道など作業プリントで作成・整理・確認する。 d:銀河と宇宙の知識を身につけている。	学習状況 探求活動 ノートや作業プリントの記述 定期考査
		恒星と銀河系	○					
		銀河と宇宙				○		
		宇宙の構造に関する探究活動		○				

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。